

DME 公開シンポジウム 2011

「実用化段階を迎えた DME」

主催：日本 DME フォーラム

共催：DME 普及促進センター，DME 自動車普及推進委員会

開催日時：平成 23 年 3 月 10 日（木）13：30～17：00

場所：東京大学山上会館 大会議室

文京区本郷 7-3-1 本郷キャンパス内（TEL：03-3818-3008）（地図添付）

参加費：講演資料代 3,000 円

参加申し込み締め切り：3月4日（金）

13:30-13:40 挨拶 藤元 薫 会長

13:40-14:20 講演-1 「二分化する世界の DME 普及動向と日本が目指すべき DME 普及ビジネスモデル」

遠藤 直彰 トタル DME ジャパン株式会社

三木田 裕彦 岩谷産業株式会社

今日の DME 普及の主要な動向は、中国やエジプトの様に自国の化石資源を原料した DME を LP ガスへ混合して輸入エネルギー削減を目指すケースと、スウェーデンにおける 100%バイオマス由来の DME を自動車用燃料として利用し低炭素化社会への貢献を目指すケースに二分化されています。

日本はそのいずれでもない方法で DME のバイオ化を目指し、価格競争力や安定供給保証等に劣る他のバイオ燃料が抱える問題をクリアしつつ、DME そのものの普及を目指す方策を考察します

14:20-15:00 講演-2 「DME ボイラの導入促進及び DME の普及促進活動の状況」

上田 早苗 一般社団法人 DME 普及促進センター

DME 普及促進センターが実施している DME 燃料利用設備導入促進補助事業により導入された DME ボイラについてその設置状況、運転実績等の成果を報告するとともに、エコプロダクツ 2010 等における DME 普及促進活動の状況、アンケートの集計結果等を紹介する。

15:00-15:15 コーヒーブレイク

15:15-15:55 講演-3 「DME トラック・スタンド実用化への展望と具体化プログラム」

若狭 良治 一般社団法人 DME 自動車普及推進委員会

DME 自動車の実用化へ大きく踏み出した。10 年来の試作と実証走行を踏まえ、DME 自動車技術指針が出せる見通しとなった。今後、DME 自動車構造取扱基準ができることで量産化が可能となる。また、安全性研究の成果として、大幅に設置面積の小さな充填スタンドの見通しも深まった。運送事業者との共同での実用化への展望を報告する。

16:00-17:00 パネルディスカッション「実用化に向けた課題と方向性」

司会 大野 陽太郎 日本 DME フォーラム

DME の供給から利用までの課題と実用化に向けて何が推進力になるか、講演者を中心に各パネリストとともに日本を巡るエネルギー環境動向を見据え具体策を討議する。

問い合わせ先：日本 DME フォーラム（松下、小山）

e-mail: jdf@r2.dion.ne.jp TEL: 03-5403-0035 FAX: 03-5403-0038